基本理念

『一人ひとりのあい（合い、愛、I、eye）をつなぎ

はりま愛あふれる　暮らしをはぐくむ』

播磨町の地域みんなのふだんのくらしのしあわせに大切だと思われる「ふれあい」「語りあい」「支えあい」といった一人ひとりの「○○あい」を寄せ集め、みんなの思いを『はりま愛』と名付け、その愛があふれる地域でのしあわせな暮らしとなるよう地域のみなさんとともに播磨町社協が目指す基本理念と定めました。

事業方針

播磨町社会福祉協議会は令和６年度に地域住民、地域諸団体の参画を得て『第６次地域福祉推進計画』を策定しました。播磨町は県内最小面積のお互いに顔と顔が見える町域です。しかしながら地域では、少子高齢化の進行、物価高騰に伴う生活困窮、高齢者も含めた単身世帯の増加、ヤングケアラーやビジネスケアラーといった介護の担い手への負担、生きづらさを抱えた人の孤独孤立の課題と様々な福祉課題、生活課題が地域の中に混在しています。

一方でご近所同士のつながりは希薄化し、互いに支えあい、助けあう地域力が弱まっています。老若を問わず地域の中に埋没し、支援を必要としながらSOSの発信がうまくできない人も少なからず存在しているものと考えます。

播磨町社会福祉協議会では、日頃の相談支援や介護・障がいサービス提供、地域活動支援を通じ、個別課題の解決や地域の活性化に取り組んでいます。この支援活動の先には播磨町の一人ひとりの皆さんにとって、安全安心に豊かに自分らしく暮らしていくことができる権利擁護と地域共生社会の実現があります。

令和８年度は『第６次地域福祉推進計画』策定から２年目となります。地域の皆さんのこんなことがやってみたい、地域のこんなことが気がかりだをみんなで共有共感し、その力合わせを通じた実践活動により、信頼される社協となり、播磨町の地域福祉の推進に寄与します。

重点目標

１．複雑多様化する地域諸課題に法人内多職種連携での解決力を強化します。

２．社会参加と地域づくりを地域住民、地域諸団体とともに進めます。

３．介護・障がいサービスの安定的経営により安心の暮らしの一助を担います。